



## 50周年をむかえて

北区は1973年(昭和48年)8月に兵庫区から分離し、2023年(令和5年)8月1日で区制50周年を迎えました。

六甲山の北側に位置しており、面積は240.29平方キロメートルで全市面積の約44%をしめ、神戸市9区のなかで1番広い区です。ニュータウンなどの住宅地域と、懐かしい田園風景を今に残す農村地域が調和しており、人口は分区当初と比較すると現在約1.8倍に達しています。

北区には、古い歴史を伝える名所旧跡や貴重な文化遺産である「農村歌舞伎舞台」、国指定重要文化財の「石峯寺(しゃくぶじ)」などがあり、桜や紅葉の名所も多く四季折々に様々な景観を楽しむことができます。

また、人と緑のふれあいの場や都市と農村の交流の場がたくさんあります。地元で採れた新鮮な野菜や米、花などの直売所である「道の駅 淡河」「道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク 大沢」、自然に癒される「森林植物園」、老若男女問わずのびのびと楽しめる「しあわせの村」など、様々な施設が多くの方に広く親しまれています。

そして忘れてはいけない北区の魅力といえば、「有馬温泉」です。六甲山の美しい山並みに抱かれた有馬温泉は、日本最古の温泉のひとつに数えられ、太閤秀吉がこよなく愛したことで有名です。「金の湯」「銀の湯」などの温泉や歴史、文化、旅館などを目当てに国内外問わず多くの観光客でにぎわう、神戸を代表する観光地になっています。

今年は、北区制50周年の節目の年です。改めて北区の魅力やすばらしさを感じていただけるように、「北区50年のあゆみ」では、区民のみならずとともに歩んできた北区の50年を年表で振り返るとともに、北区の成り立ちや懐かしい風景、魅力あふれる写真、うわさにしたくなる話題などを紹介しています。

2023年8月1日

